



Tama Blue Green Prize
第21回 多摩ブルー・グリーン賞

たまの力

NEXT TAMA -Creating the future-

表彰式

2023/12/13(水)
in Palace Hotel Tachikawa



Tama Blue Green Prize

第21回 多摩ブルー・グリーン賞 表彰式

次 第

■日時: 2023年12月13日(水) 午後3時00分から ■会場: パレスホテル立川 4階ローズルーム

開 式

主催者挨拶 多摩信用金庫 理事長 金井 雅彦

表彰状授与 多摩ブルー賞表彰

多摩グリーン賞表彰

特 別 賞 表 彰 技術・製品部門特別賞 経済産業省関東経済産業局長賞

経 営 部 門 特 別 賞 東京都産業労働局長賞

講 評 選考委員長 多摩大学 学長 寺島 実郎

来賓祝辞

閉 式

*受賞企業による写真撮影

以上

目次

ごあいさつ	1
第21回 多摩ブルー・グリーン賞実施要項	2
第21回 多摩ブルー・グリーン賞選考講評	3

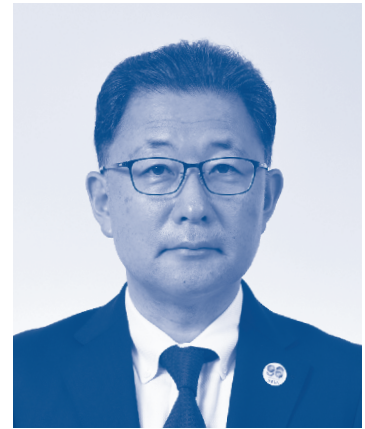
多摩ブルー賞(技術・製品部門) 受賞者

● 最優秀賞 東京電子株式会社	4
人類の未来を担う新エネルギー、核融合を支える「加速電源」の開発とそのビジネス展開	
◎ 優秀賞/特別賞 株式会社 イノフィス	5
人の生活を豊かにするサポート機器「マッスルスーツ」	
◎ 優秀賞 株式会社 テクサー	6
イベント・セミナーDX化の革新的ツール「AiMeet」	
◎ 多摩みらい賞 株式会社 アドニクス	7
8cm角の超小型人工衛星搭載用通信機	
◎ 多摩みらい賞 株式会社 環境開発技研	8
塗装ブース水浄化装置 KKG1124	
◎ 多摩みらい賞 株式会社 コーセン社	9
長時間美味しく飲める紙ストロー	

多摩グリーン賞(経営部門) 受賞者

● 最優秀賞/特別賞 リプト株式会社	10
小さな医療機器メーカーの挑戦！ニッチ戦略で「最後まで口から食べる社会」に貢献	
◎ 優秀賞 株式会社 京南	11
無人サブスク型洗い放題のFC展開(ドライブスルー洗車)	
◎ 優秀賞 株式会社 みらいリレーションズ	12
副業プロ人材による新規事業開発・DX“半”内製化サービス	
◎ 多摩みらい賞 株式会社 MNH	13
あえて機械化しない・"働く人"に"工場"が合わせる「コミュニティ工場」モデル ～お菓子屋さんが作る若者の「参加支援事業」～	
◎ 多摩みらい賞 たまエンパワー株式会社	14
環境に配慮した営農型太陽光発電事業の展開による地域の活性化と脱炭素社会の実現	
多摩ブルー・グリーン倶楽部紹介	15

私たち多摩信用金庫は
たまの力を
応援します



多摩信用金庫
理事長 金井 雅彦

弊金庫は今年の12月26日に90周年を迎えますが、この「多摩ブルー・グリーン賞」は2003年に弊金庫が70周年を迎えることを記念して始まった地域の表彰制度であり、おかげさまで、今回で21回目を迎えることができました。

本賞は、地域企業による技術開発や経営戦略創造の活力を生み出し、多摩地域を含む社会経済圏の振興に寄与することを目的に実施してまいりました。

今回は、多摩ブルー賞と多摩グリーン賞合わせて204件と多数のご応募をいただき、第1回からの応募総数は延べ3,211件、受賞者は延べ251件となりました。これもひとえにこれまでご応募いただきました多くの方々、選考委員の方々、また、ご後援をいただきました支援機関の方々のお力によるものと心より感謝申し上げます。

コロナ禍を経て、ポストコロナ時代という考え方が広まる中、国内では経済活動の正常化へ向けた動きが進む一方、円安や資源高を背景とした原材料等仕入れ価格の高騰により、企業の経営環境はまだまだ厳しい状況にあると感じています。また、本格化する少子高齢化、企業の人材不足等は依然として大きな課題として残されております。

そのような厳しい経済状況が続く中、自社の技術・製品開発やビジネスモデルをさらに成長・発展させるチャンスと捉え、それぞれの事業から生み出される『新たな価値』は、多摩地域の豊かな暮らしと繁栄に大きく寄与するものと確信しています。

多摩地域の明るい未来の実現に向けて、地域の価値を創造する表彰制度となるよう、今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

第21回 多摩ブルー・グリーン賞実施要項

多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、
中小企業、団体または個人事業主の皆さまが開発した、
優れた「技術や製品」、新しい「ビジネスモデル」を通じて地域経済の発展に貢献した事業者を表彰します。

表彰内容・対象部門

多摩ブルー賞【技術・製品部門】

最優秀賞 [1件] …… 表彰状・盾 副賞 100万円

優秀賞 [数件] …… 表彰状・盾 副賞 50万円

優れた技術や製品等により地域経済の発展に貢献した、もしくは
貢献が見込まれる中小企業、団体または個人事業主を表彰します
(すでに発売もしくは実用化されているものを対象とします)。

多摩みらい賞 [数件] …… 表彰状・盾 副賞 10万円

第1次選考通過企業のうち、選考基準の総合評価が優良と認められ、
成長性・発展性などで特筆すべきことの評価が高い中小企業、
団体または個人事業主を表彰します。

多摩グリーン賞【経営部門】

最優秀賞 [1件] …… 表彰状・盾 副賞 100万円

優秀賞 [数件] …… 表彰状・盾 副賞 50万円

新しいビジネスモデルにより地域経済の発展に貢献した中小企業、
団体または個人事業主を表彰します。

多摩みらい賞 [数件] …… 表彰状・盾 副賞 10万円

第1次選考通過企業のうち、選考基準の総合評価が優良と認められ、
成長性・発展性などで特筆すべきことの評価が高い中小企業、
団体または個人事業主を表彰します。

特別賞

技術・製品部門特別賞

経済産業省関東経済産業局長賞 [1件] …… 表彰状

多摩ブルー賞第1次選考通過企業のうち、独自性・革新性などで特筆すべきことの評価が最も高い中小企業、団体または個人事業主を表彰します。

経営部門特別賞

東京都産業労働局長賞 [1件] …… 表彰状

多摩グリーン賞第1次選考通過企業のうち、独自性・革新性などで特筆すべきことの評価が最も高い中小企業、団体または個人事業主を表彰します。

※上記以外の特別賞を設ける場合がございます。

選考方法

学識経験者などで構成される選考委員会において厳正かつ公正に選考します。

選考基準

各部門の選考にあたっては、応募内容に関し、以下の選考基準の各項目を総合的に勘案して行います。
「**独自性・革新性**」、「**市場性・収益性**」、「**成長性・発展性**」、「**社会性・地域性**」

選考日程

応募期間

2023年

5月10日(水)～7月31日(月)

第1次選考

2023年

8月7日(月)～
応募書類による選考

第2次選考・最終選考

2023年

10月11日(水)

第1次選考通過者によるプレゼンテーション選考
第2次選考の結果を踏まえ、最終選考にて各賞を選出

選考委員会

選考委員長

寺島 実郎
多摩大学 学長

副選考委員長

松本 祐一
多摩大学 教授

桐本 哲郎
電気通信大学 客員教授

選考委員

室住 敬寛
経済産業省関東経済産業局
地域経済部 地域振興課長

楊 明
東京都立大学 教授

相原 礼路
日本弁理士会 関東会
東京委員会副委員長(多摩部会長)

三角 知恵人
東京都産業労働局
商工部 創業支援課長

橋爪 直幸
(一社)東京都中小企業診断士協会
三多摩支部長

大野 英明
信金中央金庫
地域・中小企業研究所長

堀江 暁
(地独)東京都立産業技術研究センター
多摩テクノプラザ 総合支援課長

八城 守
東京中小企業投資育成(株)
業務第二部長

小田 琢也
(株)日立製作所
デジタルサービス研究統括本部 企画室長

傳田 純
東京都商工会連合会
専務理事

高橋 陽子
(公社)日本フィランソロピー協会
理事長

北 弘志
コニカミノルタ(株)技術フェロー
技術開発本部 先進コア技術センター長

[順不同]

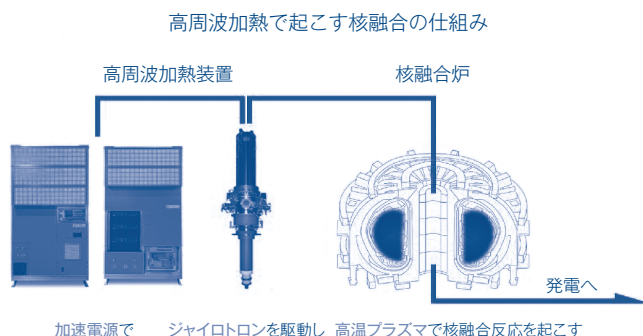


東京電子株式会社

人類の未来を担う新エネルギー、 核融合を支える「加速電源」の開発と そのビジネス展開

現在人類は社会が発展するにつれて深刻な問題を抱えております。地球温暖化による自然災害、枯渇してゆく化石燃料、エネルギー危機、そして原子力発電の安全性への不安、行き場のない核のゴミの処理問題等、早急に取り組む解決しなければいけない問題です。そのような問題を解決させる一つの手段が核融合です。核融合反応とは軽い原子核を高温・高圧で融合させて重い原子核に変わる際に放出される「膨大なエネルギー」のことです。燃料である水素は海中から取り出し、発電の過程でCO₂は全く発生しない、放射性廃棄物が出ない、連鎖反応が起きない高い安全性などの究極のエネルギーソリューションです。当社ではその核融合の起点となる「加速電源」を製作しております。この加速電源のもつ高電圧パルステクノロジーでジャイロトロンという巨大な発信器を駆動させ核融合炉で1億度のプラズマを起こし核融合反応を起こします。近年では、カーボンニュートラルなどを背景に核融合

への研究開発投資が活発化し大きな市場を形成しており、そこに加速電源を販売することが当社のビジネスモデルとなります。加速電源が起点となり核融合反応を起こす、そしてそこから得られる莫大なグリーン・エネルギーでサステナブルな社会を造っていきます。私たち人類は自らの手で地球を壊しかけています。それを止め、我々の次世代の為のエネルギーを造る、地球を残していく、これが私たちの使命です。



会社概要	
代表取締役	黒岩 雅英
本社所在地	〒185-0012 東京都国分寺市本町2-22-7
業務内容	真空機器・電源装置の製造販売
資本金	3,000万円
沿革	創業 昭和28年
主な販売・受注先	(株)日立ハイテク、京都フュージョニアリング(株)、(国研)日本原子力研究開発機構、積水化学工業(株)
従業員数	正社員:17名(パート・アルバイト:5名) 平均年齢:55歳

連絡先	
担当者	黒岩 雅英
URL	https://toel.co.jp
E-mail	kuroiwa@toel.co.jp
TEL / FAX	042-329-5090 / 042-329-5091



株式会社 イノフィス

人の生活を豊かにするサポート機器 「マッスルスーツ」

イノフィスは、中腰姿勢を保つ、重い物を持ち上げる、人を抱え上げるといった作業時に腰の負担を軽減する「マッスルスーツExo-Power」をはじめとする様々なアシストスーツを製造・販売しています。「マッスルスーツExo-Power」は、電力を使用せず、圧縮空気を使用した人工筋肉が最大27kgfの補助力で動作をパワフルにアシストします。

例えば中腰姿勢で作業をすることが多い介護職では、腰痛は“職業病”ともいわれており、離職や仕事の質の低下の原因になっています。「マッスルスーツ」は、そんな介護職員の方の腰の負担を軽減する目的で開発され、介護現場における職員の退職理由のひとつとされる「腰痛」に真正面から取り組んでまいりました。現在では全国の介護施設で導入されています。さらには介護業界にとどまらず、製造業、物流業、農業、建設業など重量物を扱う幅広い分野で普及が進んでいます。

「生きている限り自立した生活を実現する」をミッションとし、少子超高齢社会によって生じる現場の労働力不足や介護の負担といった社会問題の解決を目指しております。課題先進国日本から世界へ向け、より多くの方が生涯にわたって活躍し続けられるよう、今後も人によりそった製品の開発、提供に努めてまいります。



会社概要	
代表取締役社長	乙川 直隆
本社所在地	〒192-0082 東京都八王子市東町7-6 エバース第12八王子ビル3階
業務内容	介護福祉機器、産業用特殊機器の開発、設計、製造、販売
資本金	1億円
沿革	創業 平成25年
主な販売・受注先	(株)山善、ユアサ商事(株)、(株)テクノアソシエ
従業員数	正社員:12名 平均年齢:40歳

連絡先	
担当者	マーケティング・広報担当 清水 大真
URL	https://innophys.jp
E-mail	d-shimizu@innophys.jp
TEL / FAX	0120-046-505 / 03-6685-2545



株式会社 テクサー

イベント・セミナー DX化の 革新的ツール「AiMeet」

「AiMeet」は、展示会やイベントでの名刺交換や紙資料配布に代わる革新的なデジタルツールです。これにより、非接触かつリアルタイムでの名刺情報取得や、資料データの提供が可能になります。出展者は、来場者のバッジをスキャンするだけで、顧客情報を取得して対応記録を保存し、同時に製品資料もデータで提供できます。この方法は、従来多くが破棄されていた紙の資料と異なり、来場者の閲覧状況の把握が可能になるため、来場者のスコアリングや、ニーズに応じた製品やサービスを展示するなどの、効果的なマーケティングや顧客エンゲージメントの機会を提供します。来場者は、自身のバッジをスキャンして資料をスマートフォンで閲覧・ダウンロードできるので、荷物の軽減、簡単にデータの保管・共有が可能であり、高い評価をいただいています。さらに、ペーパーレス化による印刷費や

輸送費の削減、CO₂削減にも貢献しています。弊社は、「AiMeet」の技術を応用した各種イベントや常設展示場での利用など、多様な用途に合わせたカスタマイズを、自社のシステム開発エンジニアによりスピーディに行っています。現在AI搭載による、検索やマッチング機能などを開発中であり、今後も進化は続きます。



会社概要	
代表取締役CEO	朱 強
本社所在地	〒206-0034 東京都多摩市鶴牧1-1-14 コージーコート2F1
業務内容	IoT技術を利用したデジタルシステムの構築および販売
資本金	1億9,767万円
沿革	創業 平成28年
主な販売・受注先	東京建物(株)、TOPPANデジタル(株)、三菱商事(株)、(株)NTTドコモ(株)ナノオプト・メディア、(株)日経BP、ベストリハ(株) 他
従業員数	正社員:12名(パート・アルバイト:5名) 平均年齢:37歳

連絡先	
担当者	管理部 古池 加枝
URL	https://techsor.co.jp
E-mail	koike@techsor.co.jp
TEL / FAX	042-400-7582 / 042-400-7582



株式会社 アドニクス

8cm角の超小型人工衛星搭載用通信機

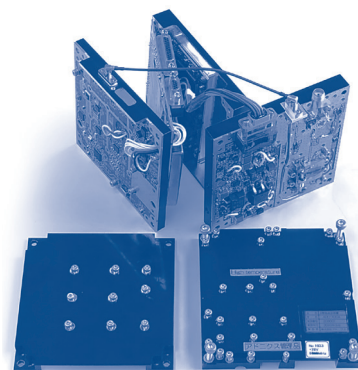
超小型な人工衛星は開発期間が短く低コストで宇宙空間に打ち上げられることから多くの民間企業や大学等の研究機関で開発・運用が始まっており、年々求められる高機能化・超小型化の水準が高まっています。中でも大量のデータ送受信を行う通信機は、人工衛星の耳や口に相当する重要な機能で高い信頼性が求められます。

今回受賞した製品は2018年までに20機の超小型人工衛星に搭載され軌道上実証された高信頼性を得た回路をベースに部品と回路の最適化に加え、高周波回路で重要なシールドや実装方法の改良を行い小型化を進めた通信機です。

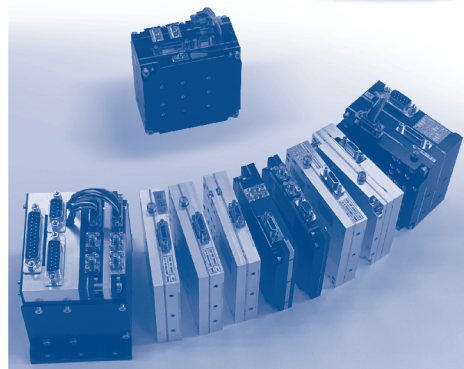
1辺10cmを基準とした、立方体を3～6個並べたキューブサットと言われる超小型人工衛星に搭載可能な8cm×8cmというサイズで、高信頼性・高機能なデータ伝送用の通信機という特徴を与え「八王子から始まる8cm角のA88シリーズ」として多くの製品化を実現しました。

今後この規格が人工衛星搭載用通信機のデファクトスタンダードになることを目指すとともに、月面探査プロ

グラムの「アルテミス計画」に関わる人工衛星への搭載も視野にあり宇宙と多摩地域を繋げるなど身近な宇宙を目指して宇宙利用の発展に関わっていきます。



内部実装



A88シリーズ

会社概要	
代表取締役	小島 要
本社所在地	〒193-0931 東京都八王子市台町4-45-15
業務内容	電子機器の開発・設計
資本金	1,000万円
沿革	創業 平成10年
主な販売・受注先	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立大学法人東京工業大学 (株)QPS研究所、(株)アークエッジ・スペース 他
従業員数	正社員:4名(パート・アルバイト:3名) 平均年齢:45歳

連絡先	
担当者	小島 要
URL	http://www.addnics.co.jp
E-mail	kojima@addnics.co.jp
TEL / FAX	042-669-3060 / 042-669-3061



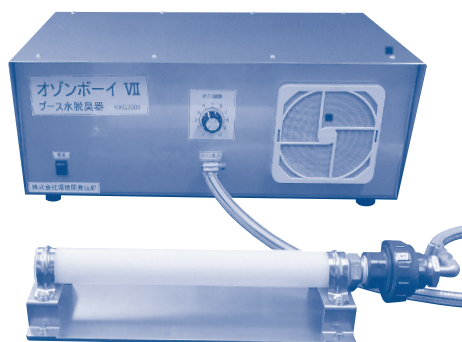
株式会社 環境開発技研

塗装ブース水浄化装置 KKG1124

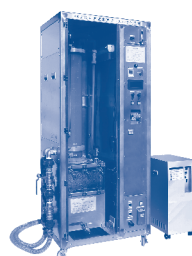
塗装で被塗装物に塗着する塗料は1～2割で、8～9割の塗料が捨てられています。捨てられた塗料は水に浮いたり沈んだりして浮いた塗料は網ですくい、水槽底に沈んだ塗料は水を抜いて回収していますが時間経過とともに汚れは蓄積されていきます。また塗料スラッジは有機物であるためブース水が腐敗してきて悪臭を放つようになり、労働環境を悪化させています。防腐剤や凝集剤も使用しますがブース水を最低年1回から数回、多いところでは毎月産業廃棄物としてバキュームカーで吸引し、廃棄しているのが現状です。

本浄化装置は有機物を水と炭酸ガスに分解するオゾンの性質を利用し、ブース水中の塗料スラッジを水と炭酸ガスに分解して無くします。結果、ブース水を廃棄せずにリサイクル使用を可能とし、労働環境を改善するだけでなく廃棄費用も低減できる装置となります。さらに、本装置はオゾンによりブース水中の腐敗菌殺菌も同時に行われるため、腐敗臭がなくなり、塗装作業現場の労働環境を改善します。ブース清掃時のライン停止も無くな

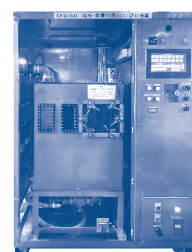
るので生産性低下も軽減されます。ランニングコストは電気代だけ、メンテは掃除だけという、経済的にも大きなメリットがある画期的な浄化装置です。



オゾンボーイVII



KKG1124



KKG2601

会社概要	
代表取締役	木村 智行
本社所在地	〒185-0014 東京都国分寺市東恋ヶ窪4-15-3
業務内容	オゾン式塗装ブース水浄化装置製造販売
資本金	1,000万円
沿革	創業 平成15年
主な販売・受注先	塗装工場
従業員数	正社員：3名 平均年齢：53歳

連絡先	
担当者	木村 智行
URL	https://kankyokg.co.jp
E-mail	t.kimura@kankyokg.co.jp
TEL / FAX	042-324-6387 / 042-324-2311



株式会社 コーセン社

長時間美味しく飲める紙ストロー

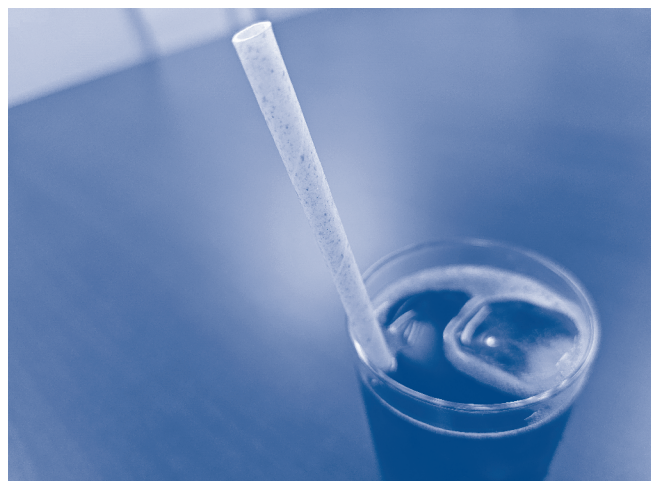
本プロジェクトは、機械メーカーである弊社が、現在までに蓄積したノウハウを活用することで、環境問題の改善に何かしら貢献出来ないか、との考えからスタート致しました。

年間131億本が消費される巨大市場である日本国内のストロー市場においても、世界的な脱プラスチック化の加速が追風となり、大手飲食店チェーンを中心として、従来のポリプロピレン製(以下PP)ストローから、紙ストロー等の環境配慮製品への切替が徐々に進んでおります。しかしながら、PPストローが、安定した品質や使用感を有しているのに対して、紙ストローは、使用材料や製造工程に応じて、品質や使用感に大きな差が生じます。その結果、現状の紙ストローに対して、『ふやける、溶ける(不味く感じる)、舌触りが悪い』といった不満の声が多いことに着目し、耐水性和触感を大幅に向上させた紙ストローを、量産装置と併せて新規開発致しました。

弊社製品の特色は、①長時間連続使用可能な耐水

性を有していること②その副次効果として使用時の口当たりも大きく改善していること、に加えて、③人体に無害な材料を使用していること、であり、食の基本である『安全・安心』を重視しております。

今後も、環境配慮製品が抱える問題点や課題の解決に、弊社のノウハウをもって挑戦することで、環境問題改善に貢献するべく、努める所存で御座います。



会社概要	
代表取締役	高橋 耕作
本社所在地	〒195-0076 東京都町田市金井ヶ丘4-47-7
業務内容	電気機械器具製造業(精密機械の設計及び製作)
資本金	3,000万円
沿革	創業 昭和63年
主な販売・受注先	リンテック(株)、(株)ブレンベース、(株)東京歯材社
従業員数	正社員:5名(パート・アルバイト:21名) 平均年齢:45歳

連絡先	
担当者	開発事業部 高橋 直也
URL	https://www.kosen-sha.co.jp
E-mail	naoya.takahashi@kosen-sha.co.jp
TEL / FAX	042-736-9031 / 042-736-9041

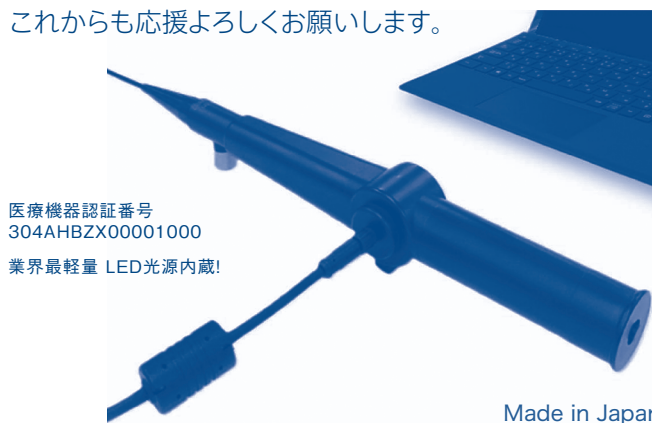


リフト株式会社

小さな医療機器メーカーの挑戦！ ニッチ戦略で「最後まで口から食べる社会」に貢献

当社は「医師達のあったらいいなあ・・・をカタチにする」をモットーに2007年に設立された医療機器ベンチャー企業です。創業以来、多くの医療従事者らと共に「最後まで口から食べる社会」の実現に向けて邁進してきました。さて、皆さんは何歳まで口からご飯を食べたいですか？多くの方が「死ぬまで食べるに決まってるだろう」と言われると思いますが、実は、最後まで口から食べることができない人は、日本国内で26万人以上いると言われています。実に高齢者の1%近くです。理由は、高齢化に伴う、飲み込み機能の反射の衰えです。その結果、食べ物が食道ではなく、気管に入って誤嚥し、肺炎を引き起こします。これを繰り返すと、口から食べることをやめることとなります。反射の衰えは、残念ながら受け入れるしかありませんが、近年、食べ物の工夫や、食べる姿勢を工夫することで、最後まで食べ続けることができることがわかってきました。その際に使用するのが、当社が開発してきた「ポータブル内視鏡」です。従来は、患者が病院に行かなければ、受けることができない検査でしたが、多くの先生

方の努力の結果、患者宅での検査ができるようになってきました。患者数からすると、まだまだ多くの先生にやってもらい必要がありますが、着実に前進していると感じています。皆様のご家族が最後まで口から食べれるように、これからも応援よろしくお願いします。



VEに適した3種類の握り方を実現!

会社概要	
代表取締役	後藤 広明
本社所在地	〒192-0046 東京都八王子市明神町4-9-1-301
業務内容	医療機器の開発、製造、販売
資本金	2,018万円
沿革	創業 平成19年
主な販売・受注先	日本全国の病院、クリニック
従業員数	正社員:2名(パート・アルバイト:4名) 平均年齢:30歳

連絡先	
担当者	後藤 広明
URL	https://livet.jp
E-mail	info@livet.jp
TEL / FAX	042-649-3491 / 042-649-3492



株式会社 京南

無人サブスク型洗い放題のFC展開 (ドライブスルー洗車)

ガソリンスタンドを半世紀以上に渡って経営している株式会社京南では、来たる電動車時代に対応するため、10数年前から洗車事業の強化を図って参りました。

ガソリンスタンド業界を取り巻く人手不足、日本人のセルフサービスへの心理的障壁の払拭などの時代の流れを踏まえ、セルフ式ドライブスルー洗車のサブスクモデルを2013年にスタートしました。毎月1,980円で毎日洗い放題という画期的なモデルです。

2016年になり、スマホでのカード決済が当たり前になってくると、一気にWEB戦略を開始しました。ホームページの最適化によるSEO対策、各種SNSを使った広告マーケティングを駆使することで、一気に事業が急成長していきます。

2018年にFC化を決断し、FCシステムの構築に着手。2022年7月には初のFC店を埼玉県草加市に出店することができ、洗練されたSNSマーケティングにより売上は1年でTOPレベルに到達。さらに、業界初の無人化シ

ステム開発を2023年に成功させ、集客⇒決済⇒洗車体験までスマホ1つで無人で一気に通貫できるようになりました。

ガソリンスタンドの枠を超えて、複合商業施設、スーパーマーケット、ホームセンターなどの空き駐車場に洗車場を併設することで、もっと洗車を気軽にし、便利な世の中を作っていきます。



会社概要	
代表取締役社長	田澤 孝雄
本社所在地	〒196-0002 東京都昭島市拝島町3-3-37
業務内容	石油製品の販売、洗車サービス、車両クリーニング事業
資本金	1,500万円
沿革	創業 昭和38年
主な販売・受注先	ENEOS(株)
従業員数	正社員:16名(パート・アルバイト:35名) 平均年齢:37.5歳

連絡先	
担当者	洗い放題.com事業部 伊藤 亮
URL	https://araihoudai.com
E-mail	araihoudai-kamei@kyounan.co.jp
TEL / FAX	042-544-0511 / 042-544-0515



株式会社 みらいリレーションズ

副業プロ人材による新規事業開発・DX“半”内製化サービス

当社は、東京工業大学関連ベンチャー・キャピタル、(株)みらい創造機構から事業開発コンサルティング部門をスピンオフして設立しました。設立前含め幾つもの新規事業を立ち上げてまいりました。

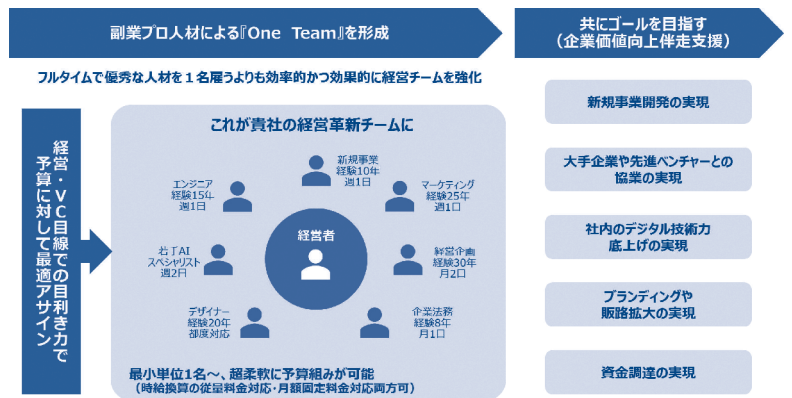
昨今、急激な環境の変化、DXへの対応など、企業が新たなステージへ踏み出す機会が増えてきています。成功に向けた一歩を着実に踏み出すためには、人材の拡充がかかせません。

しかし、良い人材をそう簡単に見つけ出すことは困難です。そこで、私たちは多様なスキルを磨いてきた副業プロ人材に着目しました。企業経営者の想いを実現すべく、専門知見を持つ複数のプロ人材の力を結集させ、更に事業開発経験豊富なメンバー(当社役員等)が「OneTeam」となり、地に足のついた伴走支援を行います。(副業なので“半”内製化サービスです)

具体的には、企業の新規事業やDXプロ

ジェクトに対して、優秀なエンジニア、優秀な企画・マーケティング担当、知財担当や、広報担当など、最適なプロ人材でチームを形成し、目標を定めてプロジェクトを立ち上げ推進します。一人の優秀な社員を探すよりもスピード面でも予算面でも柔軟に組み立てることが可能です。

多摩地域には、成長余地の大きい企業と優秀な副業人材が集積しています。地域とみらいのために今後も貢献して参りたいと考えております。



会社概要	
代表取締役	齋藤 康平
本社所在地	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-6 JPnoie恵比寿西
業務内容	新規事業開発コンサルティング
資本金	835万円
沿革	創業 令和2年
主な販売・受注先	大崎電気工業(株)、(株)PR TIMES、(株)東京カンテイ
従業員数	正社員:0名(パート・アルバイト:40名) 平均年齢:35歳

連絡先	
担当者	齋藤 康平
URL	https://mirairelations.co.jp
E-mail	saito@mirairelations.co.jp
TEL / FAX	070-1322-1666 / -



株式会社 MNH

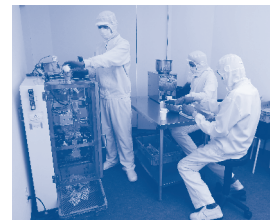
あえて機械化しない・"働く人"に"工場"が合わせる 「コミュニティ工場」モデル ～お菓子屋さんが作る若者の「参加支援事業」～

「みんなで日本をHAPPYに」の想いを軸に、モノづくりを通したソーシャルビジネスを実践する株式会社MNH。当社の運営する『コミュニティ工場』では、現代社会や企業の仕組みと合わない理由で働く場所が見つからない人や、特にひきこもり経験者を積極的に採用し、働く場所を提供しています。

最大の特徴は、人が会社にあわせるのではなく“会社が人に合わせる”という考え方。「機械化をせずにできるだけ多くの人を雇用する」「オリジナリティ溢れる商品を製造することで働く喜びを感じてもらう」「スタッフ同士の過度な干渉を避け、居心地の良い場所をつくる」ことを方針にしています。具体的には、ゴールが明確で作業リズムが作りやすい工場作業の構築、休憩を分散・過去に触れないなどのコミュニケーション方法の工夫、どんな小さい作業でも責任感を持ってもらう工夫をし、各々が自尊心を高めつつ確実にステップを踏む環境を維持しています。これにより引きこもり経験者たちの継続的な社会参加を実現し続けています。

ただし、一般的には非効率なこのモデルを成り立たせるには、高付加価値の商品開発を行う必要があります。そのため当社では、コオロギ食品や障がい者の労力を活用するなど、SDGsや社会貢献に繋がる仕組みを取り入れた、既存にない商品企画に挑戦し続けています。

今後は、この仕組みを日本社会の福祉の課題の一つの解決策として提案し、志が同じ他企業・団体にも展開することを目指していきたく考えています。



初めての方でも食べやすい! MNHのコオロギ食品「コンフェクショナリー・ココロギ」

会社概要	
取締役社長	小澤 尚弘
本社所在地	〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-34-1
業務内容	ビジネスモデルの開発、商品企画・開発、食品製造、卸売 自社ノウハウを活用したOEM製造及びOEM開発コンサルティングなど
資本金	2,200万円
沿革	創業 平成20年
主な販売・受注先	ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)、西武鉄道(株)、(株)山星屋、 (株)京阪レジャーサービス、高尾山薬王院
従業員数	正社員:8名(パート・アルバイト:3名) 在宅ワーカー:40名 平均年齢:44.1歳
連絡先	
担当者	小澤 尚弘
URL	https://www.mnhhappy.com
E-mail	info@mnhappy.com
TEL / FAX	042-443-1351 / 042-443-1352



たまエンパワー株式会社

環境に配慮した営農型太陽光発電事業の展開による地域の活性化と脱炭素社会の実現

日本の農業・農村では高齢化と過疎化が進行し耕作放棄地は増え続けています。特に中山間地では顕著で、地域コミュニティ維持が困難になりつつあります。私たちはそんな中山間地で、ソーラーシェアリングという手法で地域活性化と脱炭素化の実現に挑戦しています。ソーラーシェアリングとは、農地に架台を組み、太陽光発電と同時に下で作物を作る方式です。私たちは相模原市の中山間地の耕作放棄地を借用して開墾し、太陽光発電設備を建設し、下で養液ポット栽培方式で36種類1,100本のブルーベリーを栽培して観光農園を作りました。4年の準備期間を経て23年6月に会員制農園「さがみこベリーガーデン」オープン、初年度にも関わらず1,000人超がブルーベリーの摘み取りに訪れました。現在会員数は個人300人、法人10社。発電容量は272kW（一般家庭80軒分）で、FIT制度に則って東京電力に20年間売電しています。

また、法人会員のひとつである生活クラブ生協と共同で新たに40kWの発電所を2023年度末に建設、発電した再エネ電気は生活クラブの県内施設に送電し、「エネ

ルギーの地産地消」を実現します。パネル下では新たにワイン用ブドウの試験栽培をスタートします。更に、2年後には2メガW級（現在の約7倍）の発電所の建設を行う計画です。このように私たちはソーラーシェアリング事業を通じて地域活性化と脱炭素社会の実現を目指します。ぜひ一度ご来園ください。



会社概要	
代表取締役社長	山川 勇一郎
本社所在地	〒206-0033 東京都多摩市落合1-46-1 ココリア多摩センター4F
業務内容	太陽光発電事業
資本金	3,000万円
沿革	創業 平成27年
主な販売・受注先	東京電力ホールディングス(株) (電力固定価格買取制度)、生活クラブ生協
従業員数	正社員:0名(パート・アルバイト:3名) 平均年齢:62歳

連絡先	
担当者	山川 陽一
URL	http://tamaempower.co.jp
E-mail	yoichi.yamakawa@tamaempower.co.jp
TEL / FAX	042-357-5333 / 042-357-0335

多摩ブルー・グリーン倶楽部紹介

～受賞企業の「企業力」の集結が「たまの力」となる～

多摩ブルー・グリーン倶楽部は、受賞企業と選考委員、後援団体による組織です。受賞企業の経営課題の解決と相互連携および地域経済の振興を目的に設立され、例会や情報交換を通じて会員相互の連携を深めています。

多摩ブルー・グリーン倶楽部概要

目的

- 多摩ブルー・グリーン賞受賞者の相互連携による経営課題の解決
- 地域中小企業の活性化と、経済の振興のための地域貢献
- 地域企業としての社会的使命の遂行

事業活動 (主な活動等)

本倶楽部は、目的を達成するために次の事業を行います。

- 多摩ブルー・グリーン賞受賞企業の相互連携による経営課題の解決のための事業
- 地域中小企業活性化のための企画立案、および経済の振興のための地域貢献事業
- その他地域経済振興に関する諸事業

構成員

多摩ブルー・グリーン賞の最優秀賞・優秀賞・多摩みらい賞または特別賞の受賞企業と、選考委員、支援機関、多摩地域の行政機関(2023年度企業会員数180先)

2023年度の主な活動

第33回 例会

開催日:2023年4月20日(木)

基調講演

健康経営とウェルビーイング ～幸せで健康で豊かに笑って働く～

講師 佐野 正行 氏

(株式会社メディカルアンドナレッジカンパニー 代表)



第34回 例会

開催日:2023年10月25日(水)

基調講演

経営者の生き様 ～なぜWell-beingが必要か 試練と苦悩と逆境～

講師 高橋 ゆき 氏

(株式会社ベアーズ 取締役副社長)



第20回多摩ブルー・グリーン賞最優秀賞企業2社によるプレゼンテーション

精密微細金型成形技術による樹脂製注射針の開発

第20回多摩ブルー・グリーン賞 技術・製品部門「多摩ブルー賞」最優秀賞

大場 治 氏 (株式会社狭山金型製作所 代表取締役会長)

シルバー技術者集団が専門知識を磨き上げ 日本の産業技術の活性化に貢献

第20回多摩ブルー・グリーン賞 経営部門「多摩グリーン賞」最優秀賞

安齋 昭夫 氏 (株式会社古賀総研 代表取締役)

就業体験プログラム実施報告

就業体験プログラム実施報告

報告 株式会社 タカキ

片山 利明 氏 (総務企画部長)

左館 由美子 氏 (総務企画部主任)

エム・ケー株式会社

小林 久恵 氏 (専務取締役)

浅川 智子 氏 (社長室)

総括

多摩地区大学就職研究会 代表幹事 渡邊 敏生 氏

(武蔵野大学キャリアセンター支援課長)

2023年度事業テーマ

1. 事業連携 2. 人材投資 3. 社会貢献

事業1 高校職員による企業見学会(事業連携)

高校新卒の採用に取り組む、または地域の若者に自社のことを知ってもらいたい会員企業に高校職員が訪問し、事業の説明、若手社員へのインタビュー、社内の見学等を実施しました。

実施日
2023年5月～7月
参加会員
7社

事業3 法政大学「中小企業論」(社会貢献)

経営者の視点から見た「経営に対する想い」や「自社のビジネスモデル」など自社の魅力を同大学の社会学部2～3年生(約150名)に説明。

実施日
2023年5月22日(月)～
7月10日(月)
参加会員
8社

事業2 多摩地区大学就職研究会「就業体験プログラム」(人材投資)

多摩地区大学就職研究会の協力により、多摩地域の私立大学19校の大学生向けの就業体験プログラムを実施し、学生44名の参加申し込みがありました。

実施日
2023年7月～9月
参加会員
7社

事業4 多摩大学「事業構想論・多摩学」(社会貢献)

多摩大学経営情報学部の学生に「ビジネスモデル」や「事業経営の実態」などについてお話いただきました。

実施日
2023年7月6日(木)、7月13日(木)、
11月7日(火)、11月8日(水)
参加会員
4社



主催

多摩信用金庫

後援

経済産業省関東経済産業局、厚生労働省東京労働局、(独)中小企業基盤整備機構 関東本部、東京都、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京都中小企業振興公社、(公財)東京しごと財団

八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町、相模原市

八王子商工会議所、武蔵野商工会議所、青梅商工会議所、立川商工会議所、むさし府中商工会議所、町田商工会議所、多摩商工会議所、相模原商工会議所

東京都商工会連合会、三鷹商工会、国分寺市商工会、日野市商工会、清瀬商工会、小平商工会、小金井市商工会、西東京商工会、狛江市商工会、調布市商工会、福生市商工会、東久留米市商工会、東村山市商工会、国立市商工会、あきる野商工会、東大和市商工会、武蔵村山市商工会、稲城市商工会、羽村市商工会、瑞穂町商工会、昭島市商工会、日の出町商工会

(一社)首都圏産業活性化協会、(一社)東京都信用金庫協会、(一社)東京都中小企業診断士協会三多摩支部、(公社)日本フィランソロピー協会、(株)キャンパスクリエイト、サイバーシルクロード八王子、タマティーエルオー(株)、東京中小企業投資育成(株)、農工大ティー・エル・オー(株)、(株)まちづくり三鷹、信金中央金庫、信金キャピタル(株)、日本弁理士会関東会、(株)日立製作所 デジタルサービス研究統括本部、コニカミノルタ(株)

国立大学法人電気通信大学、国立東京工業高等専門学校、明星大学、東京都立大学、多摩大学、東京経済大学、工学院大学、日本工学院八王子専門学校

産経新聞多摩支局、時事通信社、日刊工業新聞社、日本経済新聞社多摩支局、毎日新聞多摩総局、読売新聞東京本社、朝日新聞立川支局、東京新聞立川支局

[順不同]



Tama Blue Green Prize
第21回 多摩ブルー・グリーン賞

たまの力

NEXT TAMA -Creating the future-

多摩ブルー・グリーン賞事務局

〒190-8681 東京都立川市緑町3-4 多摩信用金庫 価値創造事業部内
TEL:042-526-7728(平日9:00~17:00)